

第239回 『ヒトの輪』 地域金融機関との提携で投資機会を創出

SBIグループは、「地方創生」を経営戦略として掲げ、フィンテック企業の先駆けとして培ってきたオンライン金融事業を中心とする知見を活かした地域金融機関との連携に取り組み、また同時にネット上のみならず、地域金融機関との協業により、顧客への対面営業にも力を入れている。

SBIリーシングサービスは、“価値ある資産を通じて、資金需要者と投資家をつなぐ”を経営理念として、17年4月に設立。航空機、船舶等の価値ある資産を対象に、投資家に魅力あるリース事業への投資機会を提供するとともに、設備投資ニーズを有する航空会社や海運会社に競争力あるファイナンスを提供している。

当社の組成する投資商品は、キャピタルゲインを目的とした投資であるが、副次的に償却資産への投資を通じ、タックスマネジメントが可能となることから、都市部のみならず、特に地方の有力企業を中心に市場は拡大を続けている。しかしながら、資産価値に対する専門的な知見と資産管理ノウハウを要する上、またリース先は海外企業であることから、クレジット分析に加え、そのマネジメント層とのリレーションシップの構築、リスクマネジメントなど、高度なスキルを要するため、地域金融機関自ら商品の組成を手がける事は難しく、国内リース会社の中でもわずか10社程度しか商品の組成を行っていない。また、リース会社は、このような商品を自ら投資家を開拓、訪問し販売も行うが、十分なマンパワーならびにチャンネルを有しておらず、増大する投資ニーズに単独で応える事は難しい。

そのような中、地域金融機関は、リース会社が組成した商品をその顧客に紹介することで、増大する地域の優良企業の投資ニーズに応えることができ、成約の際にはリース会社からの紹

〈筆者紹介〉

階戸雅博 (かいと まさひろ) 氏

=SBIリーシングサービス社長。

1973年兵庫県出身、46歳、95年京

大法卒、三和銀行(現・三菱UF

J銀行) 入行。05年11月イー・ト

レード証券(現SBI証券) 入社、

執行役員商品部長、経営企画部長などを経て、12年6

月SBIマネープラザを設立、常務取締役。17年4月

SBIリーシングサービスを設立、代表取締役執行役員

社長に就任(現職)。



介料を得られる事から、アセットを使わないビジネスとして、このような投資家の紹介業務に近年注力している。また中には本格的にリース事業に投資する企業もあり、そうした地域の有力企業への貸出機会の創出に資するケースもある。

当社としては、SBIグループの一社として、伝統的なリース会社が手掛けにくいような新たなリース先の開拓に果敢にチャレンジし、またSBIグループのグローバルネットワークを活用して、徹底的にクレジット分析、リスクマネジメントストラクチャーの構築などにより、投資家にとって魅力的な投資商品を開発、提供している。

当社は、創業以来、SBIグループの掲げる「顧客中心主義」のもと、日本中の顧客に対して魅力ある投資商品を提供し続けており、それが地域金融機関にも認められ、お陰様で現在約60行に上る地域金融機関との提携が進み、今後とも拡大していく見込みである。今後とも当社は、投資家にとって最善の商品の開発、提供に注力するとともに、当社との提携により、地域金融機関が顧客本位のサービスを提供できる一助となれば幸いである。